



上智大学
SOPHIA UNIVERSITY

デュッセルドルフ・ソフィア会 2019年の歩み



2020年1月18日(土)
新年会@きかく

新年会

1月19日



木村護郎クリストフ先生の講演会

3月8日



カルチャーカフェのご案内

デュッセルドルフソフィア会共催

ひたむきに生きてひたすら烟を打つ 和風

こよみの上では春になりました。皆様お元気でお過ごしですか。

さて、3月のカルチャーカフェのご案内をお送りします。身近なドイツの友人・知人から、両親や祖父母、親戚が、東欧からドイツに引き揚げたり、逃げてきたりしたという話を、一度や二度なら聞いたことのある方はおられません。それもそのはず、第二次世界大戦末期から戦後にかけて、ナチスドイツ占領地域から追放された、あるいは自発的に移住したドイツ人は 1600 万人にもものぼると言われています。その途上では、多くの人々が命を落としました。ところで、私たち日本にも実はこれとそっくりな歴史的经验があるのです。それは戦後、満州から引き揚げてきた日本人です。しかし、その後の戦争の記憶をめぐっては、日独で大きな違いがあります。今回のカルチャーカフェでは、それについて、ご来独中の木村護郎クリストフ先生からお話をうかがい、一緒に考えてみたいと思います。大変貴重な機会ですので、ぜひ皆様ご参加ください。(参加無料 軽食・スイーツつき)

3月8日(金)19:30-21:30

公文式オーバーカッセル教室にて

Niederlasser Kirchweg 112, 40547 Düsseldorf

Tel 0211-573573

(日本人幼稚園の2軒隣です。付近に路上駐車できます。)

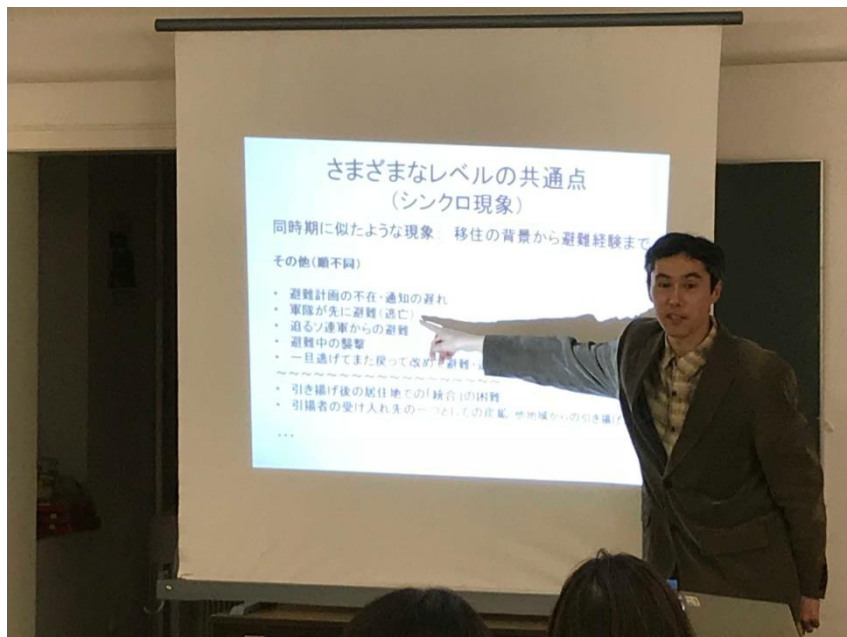
講師：木村 護郎クリストフ (きむら・ごろうくりすとふ)

1974年生まれ。東京外国語大学ドイツ語学科卒業、一橋大学大学院言語社会研究科博士課程修了。現在、上智大学外国語学部ドイツ語学科教授、同大学院国際関係論専攻主任。専門は言語社会学、ドイツ社会研究。異なる言語を持つ人々がどのように関係を作っていくかが基本的な研究主題。編著書『言語的近代を超えて—く多言語状況を生きるために』、『節英のすすめ—脱英語依存こそ国際化・グローバル化のカギ!』、『多言語主義社会に向けて』など。

テーマ：「～対立・侵略・追放・和解～ドイツ・ポーランド関係史から考える東アジアの隣国関係」

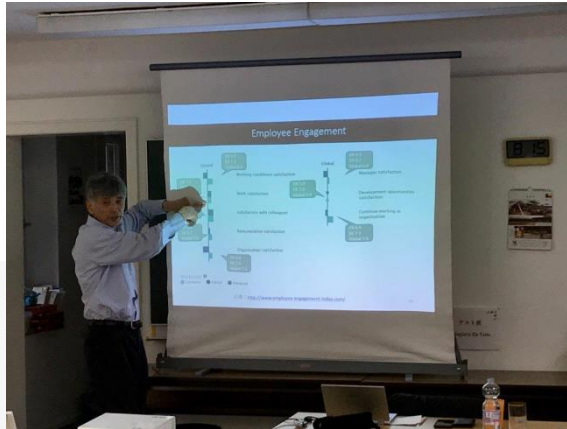
今回の話の要点は、三つあります。一つは、日本の海外居留民、特に満洲移民の引揚げと東方ドイツ人の戦争体験(敗戦体験)の驚くべき類似点に注目するということです。それをふまえて、第二に、ドイツおよびポーランドという国、またドイツ人とポーランド人が戦後、隣の国(民)との関係をどのように修復しようとしてきたのかということを見てみたいと思います。最後に、それをおして、東アジアの中にある日本の現在、過去、未来と向き合う上で、何か示唆することがあるか、そして隣国同士の対立・不和を乗り越えるために何が必要なのかを考えてみたいと思います。

ドイツについては、歴史と向き合う姿勢が素晴らしい、日本もドイツから学ぶべきだという声が聞かれる半面、ドイツと日本は事情が違うのにドイツを持ちだすことについて疑問をもつ意見もみられます。私としては、ドイツの例を理想視したり真似ようとしたりするのでもなくドイツとの比較を単純に嫌がるのでもなく、似ている面と異なっている面をみずえて、日本のことを考えるきっかけにできれば有意義だと思っています。



尾崎俊哉先生講演会

6月14日



カルチャーカフェのご案内

デュッセルドルフソフィア会共催

しののめにほたるの一つ行く白し 杉風

1年中で一番気持ちのよい季節であるはずなのに、いまだ肌寒い日々が続いております。皆様お元気で過ごしてください。

さて、6月のカルチャーカフェのご案内をお送りします。今回は、企業における「ダイバーシティ」がテーマです。年齢・性別・国籍などの違いを、多様性として生かすことは、今後、企業発展のカギと言われていきます。しかし、こどもの頃から、教育を介して同調圧力がかけられ、「みんなとおなじ」が形成されていく日本社会で、果たしてそのようなことは可能なのでしょうか。今回のカルチャーカフェでは、ただいまデンマークにご滞在の尾崎俊哉先生からお話をうかがい、一緒に考えてみたいと思います。大変貴重な機会ですので、ぜひ皆様ご参加ください。(参加無料 軽食・スイーツつき)

6月14日(金)19:30-21:30

公文式オーバークッセル教室にて

Niederkasseler Kirchweg 112, 40547 Düsseldorf

Tel 0211-573573

(日本人幼稚園の2 軒隣です。付近に路上駐車できます。)

講師：尾崎 俊哉(おざきとしや)

立教大学経営学部教授、コペンハーゲン・ビジネススクール客員研究員

1959年福岡市生まれ。1981年上智大学文学部卒業、2004年ジョージワシントン大学 PhD。1985年より2005年までIBMに勤務、2005年より立教大学教授。専門は国際経営、比較経営。近著に『ダイバーシティ・マネジメント入門：経営戦略としての多様性』(ナカニシヤ書店、2017年)

テーマ：「北ヨーロッパの働き方は、日本にとって参考にできるか」

経済を活性化させるという「アベノミクス」のもと、3年前に企業のダイバーシティを促す「女性活躍推進法」が施行され、この春からは残業規制や有給休暇取得促進などを含む「働き方改革関連法」が施行されました。少なからぬ日本企業の経営者・管理職や人事担当者は、うまく守れない・守らせられないかもしれない、手間が増える、総人件費が上昇し、競争力に影響するかもしれない、と疑心暗鬼のようです。

他方で、女性や外国人の活用が進み、残業をせず、夏休みをたっぷりとるドイツや北欧からみたら、何を今更なのかもしれません。ドイツや北欧の現地企業や日系企業の取り組みから、日本にどのようなヒントや助言が導けるのか。日本の最近の状況をご紹介するとともに、当地で働き生活されておられる皆様のご知見を伺い、どうすれば日本企業がこの問題に対応していけるか、一緒に考えたいと思います。



BBQ と蛍を見る会

6月29日



栗田路子氏講演会

11月8日



カルチャーカフェのご案内

デュッセルドルフソフィア会共催

法堂の一角灯るしぐれ哉 宋測

沈潜の秋がやってきました。皆様お元気でお過ごしですか。

さて、11月のカルチャーカフェのご案内をお送りします。今回は、今日の離せない欧州連合(EU)がテーマです。ドイツにいれば身近な EU、では、具体的に私達の仕事や生活とどのようにかかわっているのでしょうか。ベルギー在住の講師の解説で、一緒に、基本のきから、学んでみませんか。大変貴重な機会ですので、ぜひ皆様ご参加ください。(参加無料 軽食・スイーツつき)

11月8日(金) 19:30-21:30

公文式オーバークッセル教室にて
Niederlassener Kirchweg 112, 40547 Düsseldorf
Tel 0211-573573

(日本人幼稚園の2軒隣です。付近に路上駐車できます。)

講師: 栗田 路子(くりた みちこ)

1958年生まれ。上智大学文学部卒業後、外資系広告代理店にて勤務。米国ニューヨーク州コーネル大学およびベルギー・ルーヴン・カトリック大学にて経営学修士(MBA)を取得。1991年よりベルギー在住。日本企業の欧州コンサルティングや日本のメディアのための欧州取材調査・コーディネートを多数手がけ、近年は、欧州およびベルギーの政治・社会事情(教育、環境、福祉など)について発信中。ハフントンポスト、共同通信 News47などのネットメディア、環境ビジネスなどの業界誌の他、EU Mag(駐日 EU 代表部公式 webmagazine <http://eumag.jp/>)では EU 政策についての日本語解説を多数執筆。同人サイト SpeakUp Oversea's 主宰。

テーマ:「ところで欧州連合(EU)のことをどれだけ知っていますか?」

ドイツ在住の方々にはまだまだ記憶に新しい2015年の欧州難民危機、そして、英国がのたうち回ってきた EU からの脱退——EU の加盟国に住みながら、EU のことを、BREXIT のことを、私達はどれほど理解しているでしょうか。メディアの解説でも経済や単一市場のことが断片的に触れられる程度、そこで、EU の歴史、機構、法律体系などについて、基本的なことを知識としておさらいし、ニュースの背景が、また今日の問題の根源が少しでもわかるように解説します。なぜ難民はドイツを目指したのか、なぜ英国はさっさと EU から出て行かないのか、それなりの理由がより現実的に見えてくることでしょう。そして、EU 創設以来、初めての女性委員長ウルスラ・フォン・デア・ライエン氏(ドイツ人、ちなみに EU の駐日大使もドイツ人女性バトリシア・フロア氏)を欧州委員会の指揮官に据えて、いよいよ大きな軌道修正に舵を切るであろう EU のこれからについて、共に考えていくための布石になればと願っています。



岩手ソフィア会 片野氏一行懇親会

11月21日



デュッセルドルフ東京会

12月29日



TOLICカンファレンスでの三枝前会長 のご勇姿

2020年1月5日



TOLIC 第15回 TOLICカンファレンス

日時: 2020年1月4日(土) 13:00~17:00

場所: アートホテル盛岡 (盛岡市大東5丁目5-15 TEL.019-825-2151)

主催: (株)TOLICマネジメント

後援: (予定) 岩手大学、盛岡市、岩手県工業技術センター、東北北ノノディカルクラスタ研究会、いわて産業振興センター、盛岡工業クラブ、IN3いわてコーディネート研究会

◆テーマ

「TOLIC海外展開、ヘルステックイノベーションハブまもなくOPEN!」

◆海外活動報告 13:10~14:30

- ・MEDICA出展報告 (株)TOLICマネージャー 片野 友貴氏
- ・MEDICA出展報告 岩手県立盛岡第一高校 3年 藤原 羽紗さん
- ・MEDICA出展報告 盛岡中央高校 3年 長井 大樹さん
- ・SGE出展報告 帰来的な宣伝方法-日台比較を通して-
- ・海外販路開拓が私に内付た取り組み (株)アイカムス・ラボ 代表取締役 片野 圭二氏

◆ヘルステックイノベーションハブの取組み 14:30~15:30

- ・進捗報告 岩手県立盛岡第一高校 3年 藤原 羽紗さん
- ・新事業発表 2020年に動く近未来予報 セルスベクト(株) 代表取締役 寺岡 裕也氏
- ・「再生医療ならびに生体認識システム高度化に向けた 次世代医療新事業推進計画」 (株)アイカムス・ラボ 主任技術 小島 幸二氏

◆新選部長 15:30~15:45

- ・「TOLICブランド化戦略」 岩手県商工振興所 所長 安 喜孝氏

◆特別講演 15:45~17:00

1. 「ハイテク製品のEU市場参入を成功させる秘訣」 三枝基理認定民間相談所 所長 三枝 泰雄氏

TOLICで開発されたハイテク製品のEU市場参入を支援する目的で本講演では、まずEUにおける欧米の安全規制のシステムと欧米市場から参入し、規制のゲートに必要となる知識を伝えます。これに次ぎ、製品の特徴と、製品に力を入れ、市場に参入するうえで必要となるステップの一般論を述べ、説明します。また、この過程で何かに気づくべき点をおく、その参入の秘訣にも触れます。最後に、EU市場にも参入で参入すべき次世代製品のためのメッセージを述べます。

2. 「ヘルステックイノベーションに向けてその現状と課題」

独立研究法人理化学研究所 理事 小寺 秀俊氏
世界でSDGが話題になり、その中でデジタルヘルスが必要となることも、イノベーションの鍵となります。その研究開発から参入まで、社会実装において研究、開発、生産、販売、販売が重要で世界で参入していくために何が必要か、その参入の秘訣をお話しできればと思います。

◆懇親会 17:30~ アートホテル盛岡 会費4,500円

ご清聴ありがとうございました！

